

【 設問アプローチ 】

[21 - B]

本文全体で「比喩」が用いられているので、その〈 意味内容 〉を理解することが読解のポイント！

問1 : ① [設問チェック] 傍線部の、本文中における〈 意味内容 〉を答える問題であることを把握する。

→ [アプローチ] 本文読解中に、文脈から傍線部の意味内容を読み取り、
〈 根拠 〉となる内容にチェックを入れておく。

その上で、本文を一通り読み終えた後で、本文中のチェックと選択肢文の内容とを
照らし合わせて、解答となる選択肢を吟味する。

② [本文読解 - a] 傍線部に続く、10行目 ～ 12行目の辺りの〈 描写 〉が、
傍線部の〈 内容説明 〉になっている。

「彼女たち」は、直前の文脈から複数の「看護婦たち」のことであると分かる。

また、その看護婦たちが「馳けて来た」とあるので、この様子を比喩で表したのが
傍線部aの「崩れ出した」という表現であると分かる。

③ [本文読解 - b] まず、「累々」という言葉が「累ねる」という意味を持つという
〈 語句の知識 〉で考える。

その上で、文脈からその〈 意味内容 〉を読み取る。傍線部の直前に「新鮮な患者たちが
坂に成った果実のように」という比喩があり、この表現が傍線部を説明している。

この表現から、「坂に成った果実」、例えば「みかん」を想起してみると、みかんの樹にその
果実が重なるように実っている様子がイメージされる。

作者は、このようなイメージを読者に持ってもらうことを意図して、上記のような比喩表
現を用いていることが理解されるので、これを以って傍線部の〈 意味内容 〉を把握する。

④ [本文読解 - c] 傍線部を含む一文の内容を確認する。すると、傍線部の「皎々として」は
主語の「月」の様子を説明する語句であることが読み取れる。

傍線部が月の色や大きさ輝きなど、月の様子に関する〈 描写 〉であると考えられること
から、改めて傍線部「皎々として」を語句の知識と照らし合わせると、
灯明などがきらきらと光っているさまを表す、同音語「煌々として」と同じニュアンスを
持つ言葉ではないかと推測される。

このことから、「皎々として」は月の輝きを表す表現であると考えられる。

⑤ [設問読解] ②・③・④でそれぞれ確認した傍線部の〈 内容説明 〉を設問の〈 根拠 〉として、
本文の内容を適切に説明している選択肢を、解答として選ぶ。

問2 : ① [設問チェック] 傍線部に関して、『「彼」の心情』が問われていることを把握する。
また、傍線部の内容を明らかにするためのポイントを確認しておく。

(1) 「満足な」や「美しさ」といった〈 描写 〉

(2) 「回想しているかのように」や「端正な青い線」といった比喩

- ②〔本文読解Ⅰ〕傍線部前後の内容から、傍線部の内容を考える。

まず、傍線部前の18行目～21行目では、「絶望」や「眼光が冷たく彼に迫って来た」といった〈描写〉によって描かれた妻以外の一般的な患者の様子と、「哀れな朗かさ」や「静まっていた」という〈描写〉で説明された妻の様子とが対比的に示されていることが把握できる。

また、これらの〈描写〉から、妻が他の患者たちとは違って、現状を静かに受け止めている様子も読み取れる。

続いて傍線部の後の内容を確認すると、26行目に「彼と妻との間には最早悲しみの時機は過ぎていた」との記述がある。

ここからも、傍線部の前の内容で確認したのと同じように、「悲しみ」や「絶望」ではなく、彼と妻が現状を静かに受け止めている様子が読み取れる。

- ③〔本文読解Ⅱ〕②で確認した内容を踏まえながら、傍線部中の内容を確認する。

今回のように傍線が広い範囲に引かれている場合には、傍線部中の内容を〈根拠〉として見てとることもできる。

まず、傍線部の直前の一文に「恐らく、妻は死ぬだろう」とあることから、これを彼の妻に対する認識の一つとして把握することができる。

続いて、傍線部中の内容に関しては、「彼女は処女を彼に与えた満足な結婚の夜の美しさを回想しているかのように、」は、②で確認した内容を踏まえると、「妻が現状を受け止め、彼との結婚生活を満足しているように、彼が妻を見てとっている」ことが読み取れる。

また、「端正な青い線を」の「青い」という表現については、状況から「病気である妻の様子」を表す〈描写〉であると読み取れる。

- ④〔設問読解〕②と③を踏まえて、傍線部の内容を適切に説明している選択肢を吟味する。

この際、選択肢文の文末にある〈心情〉の内容説明を解答の判断基準の一つとしてチェックする。

- 問3：①〔設問チェック〕傍線部について〈内容説明〉が問われていることを把握する。

傍線部の内容としては、「時間は最早愛情では伸縮せず、…」とはどういうことなのかを本文から明らかにする必要がある。

- ②〔本文読解〕傍線部の前後の内容を確認する。

傍線部までの内容では、44行目「彼の妻は、ただ生死の間を転がっている一匹の怪物だった」や46行目「今は感情の擦り切れた一個の機会」という記述があり、或いはまた48行目「もう夫婦でもなければ人間でもなかった」という説明によって、彼から見た妻の印象や、彼と妻との関係性がどのようなものであるのかを見てとることができる。

また、49行目～51行目の内容を踏まえると、傍線部②中の「時間は最早愛情では伸縮せず、…」という表現は、「彼と妻にとって、時間は長く感じたり短く感じたりすることではなく、自然の流れに従ってただ規則的に過ぎていくものでしかない」ということが読み取れる。

- ③〔設問読解〕②で確認した傍線部の〈内容説明〉を、適切に説明している選択肢を設問の解答として選ぶ。

問4 : ①〔設問チェック〕傍線部の〈内容説明〉が問われていることを把握する。
また、傍線部中の「青ざめた花屋」から、この表現が比喻を用いた内容説明ではないかと〈予測〉する。本文読解の際には、そうした意識を持って、傍線部の〈内容説明〉を明らかにする。

- ②〔本文読解〕傍線部の直前に指示語「この」があることから、その指示内容を確認する。
64行目～66行目辺りの内容を確認すると、65行目に「それは華やかな花屋のような部屋であった」という比喻を用いた説明があり、文脈から妻の病室の様子を「花屋」と表現していることが分かる。

続いて、傍線部中の「青ざめた」という比喻表現の〈内容説明〉を求める。
傍線部の後の内容を確認すると、「死の客人が訪れていはしまいかと妻の寝顔を覗き込んだ」という記述がある。

「死の客人」とは、病に冒されている妻の元にやってくる架空の存在(＝死神のようなもの)と読み取ることができる。

ここから、「青ざめた」という表現は、「病気で弱っている妻の様子」を表していることが分かる。

- ③〔設問読解〕②で確認したように、「青ざめた花屋」とは、「病気で弱っている妻がいる、花で飾られた病室」のことであると考えられる。
以上を踏まえて、本文の内容を適切に説明している選択肢を、解答として選ぶ。

問5 : ①〔設問チェック〕傍線部に関して、〈理由〉が求められていることを把握する。
傍線部中には、「悩まされた」という〈心情〉があるので、その〈内容説明〉を本文から明らかにする。

- ②〔本文読解〕①で確認したように、「悩まされた」という〈心情〉について、その〈内容説明〉を本文から把握する。
傍線部中の内容から分かるように、彼は「月に」悩まされたということなので、本文中から「月」に関する〈内容説明〉を探す。

傍線部④の直後、77行目～81行目にかけて「月」に関する記述がある。
内容は、79行目「月下の下で、――群生した蛾のようにほの白い円陣を造っていた」や80行目「そうして月は、――縮れた羊のような皺を眺めながら、蒼然として――」のように比喻を用いた〈描写〉になっている。

「蛾のようにほの白い円陣」や「縮れた羊のような皺」といった表現は、「不気味」な印象を想起させる効果がある。

また、「蒼然として」という表現からは、「緊迫」した印象を与えられるが、場面が病院で

あることや、病に冒されている妻の状況を踏まえると、「生命の危機」を想起させる表現であることが推測される。

- ③ [設問読解] ②で確認した〈内容説明〉を踏まえて、傍線部に関する彼の〈心情〉とそのような心情を持つ〈理由〉を考察する。

この考察を以って、本文の内容を適切に説明している選択肢を、解答として選ぶ。

- 問6 : ① [設問チェック] 傍線部に関して、〈内容説明〉が求められていることを把握する。
その上で、傍線部中の内容を明らかにするためのポイントを確認しておく。

- (1) 「この花園」が指しているものは、何か？
- (2) 「呼吸している肺臓」とは、何のことか？
- (3) 「特殊な運動の体系」とは、どのようなものか？

- ② [本文読解] 本文の文脈から、傍線部⑤に関する〈内容説明〉は、主に傍線部⑤を含む88行目からの段落にあることが読み取れる。

まず、傍線部中の「この花園」は「病院」のことを指していると理解される。
続いて「呼吸している肺臓」とは、文章冒頭2行目にこの病院が「肺療院」であることが示されているので、「病院に入院している患者たちの、患っている肺」のことを表していることが分かる。

さらに「特殊な運動の体系」については、88行目からの段落の内容を見てとることで理解される。傍線部⑤の直前に指示語「これが、」があるが、この指示語は93行目「しかし、これらの -」以降、傍線部直前の97行目までの内容を指している。

この部分の内容を要約すると、「かつて自身も肺を患っていた院長が病気から回復した後に、同じように病に苦しむ人々を助けて世間に送り出している状況」というように読み取ることができる。

- ③ [設問読解] ②で確認した傍線部の〈内容説明〉を踏まえて、本文の内容を適切に説明した選択肢を解答として選ぶ。